

部 報 第 1 2 6 号

平成 2 1 年 8 月 5 日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成 2 1 年度 (財)全国高体連卓球専門部第 1 回理事会・評議員会議事録】

日 時：平成 2 1 年 8 月 5 日 (木) 理 事 会 8 : 3 0 ~ 1 1 : 5 0
評 議 員 会 1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

会 場：グリーンアリーナ神戸・多目的ホール

議 事：

1 あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部 部長 後藤 泰之
兵庫県高等学校体育連盟卓球専門部 部長 岡田 万里

2 協議事項

(1) 第 1 号議案 平成 2 0 年度事業報告承認の件 (年報 2 3 号参照)

ア 平成 2 0 年度第 7 7 回全国高等学校総合体育大会 (埼玉大会) 宮本委員長

イ 平成 2 0 年度第 3 6 回全国高等学校選抜卓球大会 (愛媛大会) 矢野委員長

ウ 平成 2 0 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会 (島根県・松江市) 坂上委員長

エ 2 0 0 9 世界選手権大会視察研修会 (横浜市) 堀内事務局員

オ その他・強化事業 丸田副理事長

承 認

(2) 第 2 号議案 平成 2 0 年度収支決算報告承認の件

ア 平成 2 0 年度収支決算書 安西副理事長

イ 平成 2 0 年度収支決算監査報告 野崎監事

承 認

(3) 第 3 号議案 平成 2 1 年度事業計画案承認の件

ア 2009 日学連・高体連合同強化事業(ナショナルトレセン) 丸田副理事長

期 日：平成 2 1 年 4 月 1 0 日 ~ 4 月 1 2 日

2009 海外遠征「ベトナムホーチミン市ゴールデンラケット大会」

期 日：平成 2 1 年 7 月 1 4 日 ~ 7 月 2 0 日

・女子 A, B チームとも団体戦 3 位、女子シングルスで市川 梓選手が第 2 位の好成績を収めた。

・平成 2 1 年度年報に報告書掲載予定

・今後も日・韓・中ジュニア交流大会、日・韓ジュニア交流大会、冬季合宿、春季合宿等を計画している。

承 認

イ 平成 2 1 年度第 7 8 回全国高等学校総合体育大会 (兵庫大会) 西村委員長

・申し込みや印刷物の配布等が煩雑でご迷惑をおかけしました。

・新型インフルエンザの対応については兵庫県高体連より指示を受けている。発生した場合は感染者のみ大会参加を認めず、感染の疑いのある選手・監督の大会参加については、大会本部で協議して対応を決定する。

疑わしい症状が出た場合は、宿泊施設を通して最寄りの医療機関で受診後、監督を通して報告してもらう事とする。(小坂理事長)

承 認

ウ 平成 2 1 年度第 3 7 回全国高校選抜卓球大会 (福島大会) 武田委員長

期 日：平成 2 1 年 3 月 2 6 日 (金) ~ 2 8 日 (日)

会 場：郡山総合体育館

・最終日の閉会式が 1 6 時と例年に比べて遅くなっているため、競技役員・選手の帰りの交通手段を考慮して日程を考えていただきたい。(宮澤審判長)

大会参加人数が多いので試合時間の遅延が懸念される。(若尾副部長)

東京まで新幹線利用で 1 時間 2 0 分程度とアクセスは悪くない。今後、大会が早く終わるようシュミレーションを検証し改善したい。(小坂理事長)

- ・ ブロック大会 1 位の取り扱いや、公開抽選方法についてインターハイとの整合性など検討いただきたい。(若尾副部長)
埼玉総体・愛媛選抜時の監督からの意見については、正副理事長会議に相当する会議を開き検討した。回答の準備がある。(小坂理事長) 報告事項に記載

承認

- エ 平成 21 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会(千葉市) 安西副理事長
冬季合宿

期 日:平成 22 年 1 月 4 日(月)~7 日(木)

会 場:千葉ポートアリーナ

指導者講習会

期 日:平成 22 年 1 月 5 日(火)~6 日(水)

会 場:千葉ポートアリーナ

- ・ 宿舎の記載に誤りあり。正しくはホテルグリーンタワー千葉
- ・ 新型インフルエンザの大流行が懸念される。

承認

- (4) 第 4 号議案 平成 21 年度収支予算案承認の件 安西副理事長

- ・ 補正予算を組んだ。ミニからの 100 万円は「事業収入費」として処理し、備考への記載内容は「協賛金」とし、内 70 万円は「広報費」(ポスター・応援うちわ制作費)に、インターハイ開催専門部へ 10 万円、選抜実行委員会へ 20 万円(ミニ横断幕作成費用 10 万円含む)は「運営補助金」で処理する。
- ・ 全国高校選抜大会補助金について、補助金を 80 万円から 100 万円に増額。理由は全国高体連関係役員の集散旅費等による開催地負担を軽減するため。
- ・ 日本卓球協会分担金が 27 万円から 15 万円に減額。理由は日卓協の財政が健全になってきたため。
- ・ 収支決算書と特別会計収支決算書の書式を同一のものにしてもらいたい。(坂部事務局長)
特別会計収支決算書の書式を変更する。(安西副理事長)
- ・ 横断幕を作成・掲示しない場合やミニが持っている横断幕を借用する場合は 20 万円そのまま補助金としていただけるのか。(坂部事務局長)
再度ミニに問い合わせる。(小坂理事長)

承認

- (5) 第 5 号議案 理事会・各委員会・事務局提案承認の件

- ア 日本リーグ「ゴールド(レンタル)制」への対応 小坂理事長

- ・ 機関決定もしていない状況であり、日本リーグには承服しかねると回答した。1 月 22 日に日本リーグより、時期尚早であるので一端保留したいと連絡があった。5 月 26 日の全国高体連第 1 回評議委員会で、二重登録の疑いが発生する可能性があるのでは望ましくない、日本リーグに出場した選手はインターハイに出場させないと連絡があった。5 月 30 日の日本卓球協会第 1 回評議委員会で、日本リーグからレンタル制は高校生を省くとの連絡があった。

承認

- イ 規約・規定の一部改正(案) 初田副理事長

- ・ (財)全国高等学校体育連盟卓球専門部規定 11)[5]外国籍選手の大会出場制限追加

定義 外国籍選手・・・「日本で生まれた者で引き続き 3 年以上日本に住所または居住を有する者。または、引き続き 10 年以上日本に居住を有する者(外国から移住した者)」

外国籍留学生・・・「一定期間査証(ビザ)を取得して、卒業を目的として日本の高校に在籍する者。」

外国籍選手については、永住権を有する者と同じ扱いをする。

卓球専門部では上記のように表現することとする。また、全国高体連にもこのようわかりやすい表現を使っていたらよいように働きかける。(小坂理事長)

- ・第4条 全国選抜の組み合わせは次のように規定する。

抽選の原則 イ 各ブロックの1位チームが同リーグに入らないように抽選をする。
(ただし、シード校がブロックの1位でない場合を除く) 削除する

- ・15) 6 - A 強化委員会および技術専門委員会 ~ 名称変更する

- ・インターハイのドローは複数校出場県を先に抽選するため、優先されているように感じる。

同一県チームの分散を第一と考えているため、作業の手順として複数校出場県を先に抽選しているだけなので理解していただきたい。(初田副理事長)

承認

ウ 強化委員会

丸田副理事長

- ・第3号議案 ア で申し上げたとおり。

承認

エ 審判委員会

宮澤審判長

平成20年10月1日改訂ルールについて

- ・ラケット・ラバーに関する項目は既に周知の通り。
- ・アドバイスについてはベンチにいると明記された。
- ・アンダーシャツの着用については商標が見えないように、また競技用服装が半袖であることから、長袖アンダーシャツの着用は許可されない。
- ・鼻血による試合の中断においても、10分を超える場合は競技の進行に影響を与えるので、止血できない場合はある程度の時間をもって棄権扱いとするのが妥当。
- ・全国高校選抜大会推薦出場校、全国高校選抜大会シード校については、ブロック内の他校より上位の順位をつけ、ブロック大会の結果として提出していただきたい。

承認

オ 年報編集委員会

関川副理事長

- ・平成20年度の年報の注文数は4,386冊、各県のご協力に感謝します。
- ・平成21年度の年報の注文冊数の報告をお願いします。

承認

カ IT委員会

安西副理事長

- ・大会情報をできるだけ早くお知らせできるよう努力していく。
- ・メンバーを確定し組織化したい。何か要望があれば安西まで。

承認

キ 平成22年度第79回全国高等学校総合体育大会(沖縄大会)

眞島委員長

- ・公開抽選会 平成22年8月6日(金)

開会式 8月7日(土)

競技 8月8日(日)~12日(木)

閉会式 8月12日(木)

- ・競技会場は2会場となる。
- ・空路しか無いため従来とは違う形の計画輸送となる。また、台風の影響も懸念される。

- ・5 競技規定(2)イ ~ただし、別の選手の試合開始時に選手とともに競技場に入場すれば、その試合のアドバイザーとして認める。 削除する

参加定数について確認(坂部事務局長)

沖縄入りは競技の2日前になるのか。評議員会出席者はどうなるのか。(安西副理事長)

団体出場選手・監督は競技2日前の8月4日に入り、競技終了2日後の14日までに帰ることになる。輸送については、後日各県にアンケート調査を実施する予定だが、その際最大の数で回答をお願いしたい。役員についてもアンケートを実施する予定。(眞島委員長)

沖縄は観光シーズンであり、座席を確保するには他に方法がないためご理解をいただきたい。(小坂理事長)

アドバイザーがベンチに途中入場できない根拠を教えてください。(中島理事)

日本卓球ルールで規定されている。(野崎副審判長)

承認

ク 平成22年度第38回全国高等学校選抜卓球大会(愛知大会) 坂部事務局長

- ・依頼を受けて間もないということで詳細については今後検討していきたい。ご支援とご協力をお願いしたい。

平成22年度は福岡県での開催予定であったが、県内事情の関係で実施できないということで返上したいとの要請を受けた。また、これ以上他県との交渉を引き延ばしても更に開催準備期間が短くなることから、無理を言って愛知県をお願いしたので了承していただきたい。また、今後の開催地について、今まで全国選抜を開催していない県は開催に名乗りを上げていただきたい。(小坂理事長)

卓球台は何台準備できるのか。(宮澤審判長)

広さは十分だが、隅の方が暗いことを考えて36台準備する。会議室等付属の施設が少ないので、ご不便をおかけします。(坂部事務局長)

参加定数について確認(坂部事務局長)

承認

ケ 全国高体連卓球専門部創立80周年記念事業について 関川副理事長

- ・第80回全国総体青森大会を記念大会とし、各ブロックから男女各1チームをプラスして64チームで学校対抗戦を実施する。
- ・80周年記念式典を、平成23年度全国総体青森大会時に開催する。
- ・高校卓球80周年誌を、平成24年度全国総体長野大会時に発刊する。

承認

3 報告事項

(1) 平成21年度第1回高校総体中央委員会(4/24) 小坂理事長

- ・平成22年度より全国高校総体の参加料が値上げされる。(団体35,000円 個人3,500円)これにともない、全国高校選抜も諸般の事情から同額への値上げとなる。全国高校総体参加料値上げの要因は協賛企業のコカ・コーラの協賛金が1億8千万円から、9千万円に減額となったため。その対策としてゼッケンに広告を入れたり、入場料を徴収などの方法も今後検討されていく。

(2) (財)全国高体連卓球専門部第1回評議員会(5/26) 小坂理事長

- ・(4)新理事長 三田 清一(都立豊多摩高校校長) 新会長に訂正。

(3) (財)日本卓球協会第1回評議員会(5/30) 小坂理事長

(4) その他 初田副理事長

- ・以下の監督会議における質問の回答は、県専門委員長より質問者に周知していただきたい。

ブロック1位校はシードすべきである。

抽選制度の自由度と醍醐味を損なわないようにしたい。全国選抜のシード校とブロック大会1位校を同等と扱うことが適切であるかという疑問もあるため、基本的には現状を維持したい。(初田副理事長)

タイムアウト制は1回戦から適用してもらいたい。

専門部としてもそれを支持するが、開催地の事情も配慮していかなければならない。

従って必ず実施するとは言えない。(初田副理事長)

監督証は不必要である。購入させるなら監督登録費を有効に選手強化に使ってはどうか。

監督証を1,500円で購入しているのではなく、登録費として支払っているのであり、それに監督証が付いてくる。外部指導者制度を導入している専門部としては、登録制度がそれを確認する有効な手段となっていると認識している。(初田副理事長)

4 連絡事項

(1) 開催地実行委員会より

西村委員長

(2) 事務局より

坂部事務局長

1 理事長挨拶

2 議事

1) 平成21年度内容について

ブロック大会・結果 インターハイ 国民体育大会 全日本選手権 選抜大会
合宿・指導者講習会 日・中・韓交流大会 海外遠征報告 その他
名簿(全国高体連役員・評議員・強化委員・年報編集委員・関係機関・OB会)
事務報告(決算・予算、各種会議報告等)

2) 平成21年度「年報24号」編集について

サイズ(現行サイズ: A4タテ) 約42~44文字、10.5~11ポイント MS明朝
・個人戦のトーナメント表(ヤグラ)への、氏名・学校名・学年の記入。(名簿の省略)
・各ブロックの原稿を、そのまま年報原稿とする 原則
題字・表紙(全国高体連卓球専門部長による)
広告(日本卓球・タマス・ヤマト卓球の三社に依頼。掲載場所は年毎に移動)
ブロック大会結果(各ブロック編集委員の責任編集とし、原稿を茨城県立玉造工業高校
関川へ郵送)
インターハイ(神戸)・国民体育大会(新潟・柏崎)・選抜福島・郡山大会結果
(委員長が開催地競技委員長を通じて依頼し、大会記録を茨城県立玉造工業高校 関川へ
郵送)
全日本選手権結果
合宿、日・中・韓交流大会・海外遠征報告等(全国高体連事務局:稲垣先生より)
事務報告、部報等(全国高体連事務局:鈴木基稔先生より)
名簿関係(全国役員 鈴木基稔先生、OB会 関山満先生と中村良一郎先生より)

3) 印刷・出版に 関して

* 原稿送付先

〒311-3501 茨城県行方市芹沢1552 茨城県立玉造工業高校 関川治郎 宛
(TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454 携帯090-3094-1854)

* 印刷所

変更予定で交渉中

3 閉会のことば